アスタリスクの付いた論文はHUSCAPに内容が掲載されています

(更新: 2025.11)

No Year Author Title 社外取締役比率を上昇させる要因の分析 219 2025.11 畠中貴幸 女性の就業率と末子の年齢:1987年から2017年の ***** 218 | 2025.10 安部由起子 就業構造基本調査の分析 ***** 217 2025.8 安部由起子 2023年・2024年の地域別最低賃金の審議について 資本剰余金配当の実施に対する ***** 216 2025.5佐藤 慶明 資本市場の反応についての再検証 産業用ロボット企業の社内取引戦略に関する考察 2024.9 長桶 和也 215 ツルハホールディングスの国内戦略(2) 214 2024.9 岩田 知子 ツルハホールディングスの国内戦略(1) 2024.9 岩田 知子 2132122024.9 岩田 知子 知識吸収能力に関する考察 シングルマザーの就業状態の推移: ***** 211 2024.3 安部由起子 就業構造基本調査と国勢調査の匿名データの分析 女性就業率の M 字型カーブ <u>*</u> 210 | 2023.11 安部由起子 -2000 年から 2020 年にかけての学歴・地域別の分析 畠中貴幸 社外取締役増員は企業パフォーマンスに ***** 209 2023.7 櫻田譲 影響を及ぼすのか 渡部元博 産地における「デザイン」の埋め込み 相原 基大 208 2023.4 -国内木製家具産地の質的な変容の駆動-大学スポーツ協会設立の政策形成 横井 康博 207 2023.4 ―新・政策の窓モデルによる実証分析― スポーツ庁設置の政策形成 2023.4 横井 康博 206 一準備期,形成期,実現期の事例の記述― 阿部 智和 コワーキングに関する国内文献のレビュー I 205 2022.12 趙 婉辰 鯉口 庄吾 トービンQを凌駕する企業パフォーマンス指標の探求 ***** 204 2022.9 大澤 弘幸 渡部 元博 櫻田 譲

アスタリスクの付いた論文はHUSCAPに内容が掲載されています

No	Year	Author	プ付いた論又はHUSCAPに内谷が掲載されています Title
<u>*</u> 203	2022.9	鯉口 庄吾 櫻田 譲	東京五輪決定報道が資本市場に及ぼした影響について
202	2022.6	松尾 睦	人的資源管理システムと職場環境が学習志向に及ぼす影響: 介護士を対象とした質的研究
201	2022.5	松尾 睦	経験学習を促す人的資源管理システム —Center of Creative Leadershipの実践事例を基に—
<u>*</u> 200	2022.5	松尾 睦	サービス・サイエンスの理論と課題
199	2022.4	長谷川 光	Poverty growth curve とRich growth curve の計測
198	2022.3	相原 基大	産地における業界カレンダーの生成 -国内木製家具産地における経験の含意-
197	2021.12	松尾 睦	管理栄養士の顧客志向行動と人的資源管理システム 一量的・質的分析-
196	2021.11	松尾 睦	社会起業家の事業構築プロセスと経験学習 -「食べチョク」の事例-
<u>*</u> 195	2021.8	兪 子荷 櫻田 譲 鯉口 庄吾	租税負担が企業価値に及ぼす影響の分析
<u>*</u> 194	2021.5	櫻田 譲	小売業の有給取得率と女性管理職比率が企業業績へ及ぼす影響
<u>*</u> 193	2021.4	黄 今書 櫻田 譲	わが国IFRS適用企業の利益に関する研究
192	2021.1	松尾 羽奈子	公共図書館における回想法の実施過程に関する事例研究
191	2021.1	松尾 羽奈子	公立図書館における提供サービスの品質と 全体評価に関する探索的研究
190	2021.1	林 麗桂	職場におけるメンタリング研究の現状および今後の課題
189	2021.1	林 麗桂 永田 正樹	メンタリングを通じたメンターの学習および仕事の有意味感の知覚 ーグランデッドセオリー・アプローチ(GTA)を用いた実証的研究ー
<u>*</u> 188	2020.12	櫻田 譲	核関連施設誘致の自治体財政と観光振興の関係
187	2020.7	吉野 有助松尾 睦	心理的エンパワーメントの決定プロセス: ホテル従業員を対象とした質的研究
186	2020.7	築部 卓郎	認知的徒弟制を用いた心臓外科医の 育成プロセスに関する質的分析
185	2020.7	寺内 伊久郎	組織間連携研究における現状と課題
184	2020.4	長谷川 光	中央値を用いた不平等指標についての覚書
183	2020.4	馬嘉繁	中国雇用改革に伴う労使関係の展開 国有企業に対する追加調査を中心に
182	2020.4	築部 卓郎 松尾 睦	認知的徒弟制を用いた若手医師指導法に関する実証研究

アスタリスクの付いた論文はHUSCAPに内容が掲載されています

No	Year	Author	Title
110	1 Cai	Humor	イラン・地方都市における女性就業の一
181	2020.4	村上 明子	イプン・地方郁巾における女性別乗の一 ーカーシャーンの手工芸の事例から-
180	2020.3	築部 卓郎 松尾 睦	認知的徒弟制に関する研究の現状と課題
<u>*</u> 179	2020.3	阿部 智和 山口 裕之 大原 亨	セイコーマート:地方企業による コンビニエンス・ストア事業の確立
178	2020.1	寺内 伊久郎	産学連携における阻害要因とその克服に関する事例研究
<u>*</u> 177	2019.11	松尾 睦	医療プロフェッショナルの経験学習(要約)
176	2019.8	永田 正樹 松尾 睦	経験学習と内省:Gibbs (1988)のリフレクティブ ・サイクル・モデルの再考
175	2019.5	相原 基大	イタリア眼鏡枠産地を取り巻く競争の文脈の形成と展開
<u>*</u> 174	2019.5	櫻田 譲 蒲 琪	株主利益重視の経営とストックオプション制度の導入について
173	2019.5	長谷川 光 上田 和宏	女性の生活時間の決定要因の分析: 2006年「社会生活基本調査」から
<u>*</u> 172	2019.5	柳田 具孝	ファミリー企業の経営者交代に対する市場の反応
<u>*</u> 171	2019.3	阿部 智和 山口 裕之 大原 亨	セイコーマート:独自性の高いビジネスモデルの確立
<u>*</u> 170	2019.3	阿部 智和 山口 裕之 大原 亨	セコマ:コンビニから総合流通業への転換
<u>*</u> 169	2019.1	金 仁子	韓国におけるワーク・ライフ・バランス実現への取組と課題 一育児休業制度を中心に
<u>*</u> 168	2019.1	櫻田 (((((((((((((((((((銀行業の租税負担漸減に関するパネルデータ分析
167	2019.1	小野寺 美希子	職業的アイデンティティがケアリングに与える影響 ープロアクティブ行動による媒介効果の検討-
166	2018.12	寺内 伊久郎	産学連携における公平的利益分配に関する考察 : 不実施補償の観点から
<u>*</u> 165	2018.11	櫻田 塚辺 博崇 柳田 具孝	コーポレート・ガバナンスと超高額役員退職金支給の関係
<u>*</u> 164	2018.10	櫻田 譲塚辺 博崇柳田 具孝	コーポレート・ガバナンスと超高額役員給与支給の関係
<u>*</u> 163	2018.8	柳田 具孝	ファミリー企業における経営者交代の決定要因
162	2018.6	藤村 哲史	貧民のワークハウス収容に関するN.W.シーニアの見解について

アスタリスクの付いた論文はHUSCAPに内容が掲載されています

No	Year	Author	Title
161	2018.4	高橋 史早	消費者行動における知覚価値次元の再検討
160	2018.4	高橋 史早	顧客価値尺度の開発と検証
<u>*</u> 159	2018.4	宇田 忠司 阿部 智和	コワーキングスペースにおける コミュニティ構築とサステナビリティ向上の要因
158	2018.3	相原 基大 曽ヶ端 志帆 塩崎 裕務	不確実性・バリアンス・管理 -群大病院腹腔鏡下肝切除術の医療事故のケース教材-
157	2018.3	長谷川 光	Zenga指標についての覚書
<u>*</u> 156	2017.12	松尾 睦	管理職によるジョブアサインメント ―経験を創り・与え・支援する―
<u>*</u> 155	2017.12	松尾 睦	5分間リフレクション・エクササイズ
<u>*</u> 154	2017.11	久保田 肇	古典的有限次元財空間経済モデルにおける競争均衡 の存在定理について: Nikaido(1956, 57)を中心にして
<u>*</u> 153	2017.11	久保田 肇	離散型1部門ラムゼーモデルの基本的性質について
<u>*</u> 152	2017.11	松尾 睦	ジョブ・アサインメントの支援制度 ―島津製作所と参天製薬の事例―
151	2017.10	金 仁子	韓国の最低賃金をめぐる争点に対する一考察
<u>*</u> 150	2017.10	金 仁子	イギリスにおける産業委員会法(The Trade Boards Act 1909)の成立
<u>*</u> 149	2017.8	櫻田 譲柳田 具孝	退職所得課税に対する検証 ―中小法人における従業員に対する退職一時金支給実態に関す る実証研究―

No.1~148の論文についてはDiscussion Paper Series B(Past)をご覧下さい